

議案第 2 号

令和 3 年度事業計画及び収支予算について

花南地区コミュニティ会議規約第 10 条第 3 項の規定により、次のとおり総会の議決を求めます。

令和 3 年 3 月 20 日提出

花南地区コミュニティ会議会長 伊 藤 實

I 令和 3 年度事業計画

1. 基本方針

私たちが暮らす地域がより暮らしやすいまちとなるよう、私たち自身の手で創り上げることを基本に、花南地区コミュニティ会議は発足して 14 年目を迎えます。

この間、住民の交流と連携を図り、自助・共助への理解を深める事業や、自治会・各種団体の課題を解決する事業を支援し、住民主体のまちづくりへの関心が高まるよう様々な取り組みを進めて参りました。

昨年、世界中に猛威を振るう新型コロナウイルス感染症が私たちの日常生活を一変させました。この新型感染症は人と人の物理的な距離・つながりを隔てることになり、人が集まる機会や場所を激減させました。

しかし、このような状況だからこそ自然を敬い、あらゆる生物を慈しみ、世界中の人々の幸福を願ってやまなかつた宮沢賢治の心を大切にし、できることからまちづくりを実践して参ります。「賢治の心が息づくハートフル花南」を合言葉に、住民のふれあいと思いやりの心があふれ暮らしやすいと感じられる花南地区の実現に努めます。

2. 事業内容

(1) コミュニティ会議本部事業

◇総務企画部会

① 広聴広報事業

花南地区コミュニティ会議の活動や、『参画と協働のまちづくり』への関心を深めるため、情報誌「花南コミュニティだより」の発行やまちづくり情報の収集及び発信に努めます。

② まちづくり先進地研修事業

自主的なまちづくりや特色ある地域づくりに取り組んでいるまちづくり先進地を視察し、花南地区のまちづくりの参考とするため研修事業を実施します。

③ 人材育成事業

花南地区のまちづくりを担う人材を育成するため、人材育成事業「上館協働塾」を開催します。

④ 国際交流事業

富士大学に学ぶ海外からの留学生と南城中学校の生徒や住民との交流会を催し、南城中学校生徒の国際感覚を養い、留学生には花南地区を知ってもらうとともに、住民との触れ合い共に理解を深めるため国際交流事業を実施します。

⑤ 各種講演会の開催

芸術文化の鑑賞の機会として「花南寄席」や文化祭などの場を活用した「郷土芸能鑑賞会」、「ステージ発表会」を開催します。

また、花南地区のまちづくりについて幅広く考える「花南の明日を語る懇談会」、南城中学校生徒を対象とした教育講演会を開催します。

⑥ 富士大学との連携

花南地区の発展と教育・学術・文化の振興等を目的とした包括連携協定を結ぶ富士大学との関係をより一層深め、地域創生研究の具現化プランへの参画や学生を巻き込んだ活動を行います。

◇生活環境部会

① 交通安全・防犯の推進

花巻市交通安全協会南分会、花南地区交通安全母の会と連携し、地域内の交通危険箇所の解消及び交通安全意識の啓発普及に取り組みます。

また、桜町駐在所と連携し、犯罪のないまちづくりを推進するため、「こども 110 番の家」協力世帯への情報提供、協力世帯・企業の維持確保に取り組みます。

② 防災の推進

災害時への対応や救急活動への理解を深め、安全・安心な花南地区を築くため、自衛消防訓練・救命講習会の開催や自主防災組織への支援を行います。

また、花南振興センターと花南地区社会体育館に設置している救命装置(AED装置)の保守整備を行います。

③ ボランティア支援

南城小学校児童のボランティア活動を支援するため、花南振興センターに空き缶プルタブ回収の窓口を設置します。

また、地域の除雪ボランティア活動を支援するため、除雪機の貸し出し及び点検整備等を行います。

④ 道路整備等事業要望の現地調査

自治会から要望された地域づくり交付金事業の道路整備及び道路施設整備の現地を本部役員会と合同で調査を行い、緊急性・必要性等を協議し採択する事業を選定します。

◇保健福祉部会

① 世代間交流

夏休みを利用して昔遊び等の体験を通じ、世代を超えたふれあいと絆を深めるため、世代間交流会を開催します。

② 料理教室

料理を通じて食への関心と食育の大切さを学び、親子のふれあいを深めるため、親子料理教室を開催します。

③ かなん子どもひろば支援

就学前の子育ての仲間づくりや情報交換の場として、毎月1回開設されている「かなん子どもひろば」は、地域の子育て対策として重要な役割を担っており、その活動が円滑に展開されるよう必要な支援を行います。

④ 講演会・研修会

住民にとって関心の高い「健康・介護」や、地域で支える「福祉」など避けて通れない課題について理解を深めるため、講演会・研修会を開催します。

⑤ 高齢者外出機会の創出

高齢者の生きがいづくり推進や地域とのつながりを深めるため、だれでも気軽に参加でき楽しいひと時を過ごす「花南シニア井戸端ひろば」を開催します。

⑥ 感染症対策支援

生涯学習やまちづくり活動を安心・安全に行うための新型コロナウイルス感染防止に関わる物資の支援や情報提供を行います。

◇地域振興部会

① 雨ニモマケズ詩碑周辺整備事業

宮沢賢治ゆかりの地にふさわしい花南地区を築くため、今後の展開について調査研究・整備を行います。

今年度は、全国から訪れる賢治ファンをお花でお迎えするため賢治文学散歩道に新調したプランター花壇 100 個を設置します。

② 地域交流事業

地域住民及び世代間の交流と地域の振興を図るため、第10回自治会対抗グラウンドゴルフ大会を開催します。

③ 新花巻発見探訪ツアー

花巻市内各地域の史跡・名所や施設等を訪問することにより、私たちが住むまちを再認識し花南地区のまちづくりに生かします。

④ 史跡・名勝等や郷土歴史に関する調査整備

花南地区に残されている歴史的文化的な史跡名勝地や郷土歴史について理解を深めるため、学習会・研修会を開催します。また、名勝地等の維持管理を実施します。

⑤ 地域活性化の推進

花南地区の活性化について講演会や研修を行い、地域振興が推進さ

れるよう努めます。特に花南地区を中心に整備が本格化する花巻 PA スマートインターチェンジ、これに接続する都市計画道路山の神諏訪線、4車線化が進む国道4号線北上花巻道路、産業団地整備が検討される実相寺山の神地区等に関して行政、関係機関と情報共有し連携を深め花南地区の大規模インフラ整備が着実に図られるよう努めます。

◇教育文化部会

① 宮沢賢治に関する事業

宮沢賢治ゆかりの地にふさわしい花南地区を築くため、宮沢賢治について理解を深める事業「第5回賢治さんゆかりの地を歩く」の実施や花南振興センター図書コーナーの宮沢賢治書籍の拡充を図ります。

② 児童生徒の自主学習支援

児童生徒の夏休みや冬休み期間中の自主学習を支援するため、児童生徒の部屋『自学館』の開設と、親子工作教室を開催します。

③ 教育に関する講演会の開催

家庭や地域の教育力を高め、児童生徒の健全育成と地域力の向上を図るため、南城小中学校、同PTA、花南教育振興協議会等と連携し、教育に関する講演会を開催します。

④ 伝統芸能の支援

花南地区内の伝統芸能等についての支援活動を行います。

⑤ 花南地区文化祭の開催

花南地区文化祭実行委員会に参画し、花南地区民の芸術文化の発表の場となる花南地区文化祭が、多くの住民参加により充実した内容となるよう努めます。

⑥ 生涯学習の推進

生き生きと充実した生活が送られるよう、学びの機会を提供するため、花南高齢者学級やかなん女性学級をはじめ自然観察会、地区民ふれあい登山など各種講座を開催します。

また、花巻地域の振興センターと連携し同じテーマの講座を合同企画・運営し地域の生涯学習を推進します。

(2) 地域づくり支援事業

◇公共施設等の軽微な維持補修

花南地区コミュニティ会議の「生活道路等整備支援事業実施要領」に基づき、自治会が行う道路の舗装整備、道路施設の整備修繕等を支援します。

◇生活環境の整備

街路灯やカーブミラー、ごみ集積所など住民の安全確保や美化・環境整備を図るための事業を支援します。また、自治公民館の修繕や備品整備、防災資機材の整備など自治会の課題解決や、住民のふれあいと交流を促進する事業を支援します。

◇各種団体の育成支援

花南地区自治公民館連絡協議会や花南教育振興協議会等の活動を支援するとともに、各種団体が行う花南地区民のふれあいや交流、安全で安心なまちづくりに資する事業を支援します。

(3) 市の施設の管理事業

花南振興センター及び花南地区社会体育館の管理を花巻市から受託し、住民の生涯学習やまちづくりの拠点施設として親しまれ、使いやすい施設となるよう適正な管理運営を行います。

また、国が進める「新しい生活様式」や花巻市の新型コロナウイルス感染拡大による市関連施設の利用制限ガイドランに基づき、適切な感染防止対策を実施します。

II 収支予算

令和3年度収支予算書

(1) 収入

(単位：千円)

項 目	令和3年度 当初予算額	令和2年度 当初予算額	比 較	備 考
花巻市交付金	11,720	11,720	0	地域づくり交付金
花巻市委託料	6,393	5,712	681	指定管理委託料
繰 越 金	1	1	0	前年度繰越金
雑 入	1	1	0	預金利息
合 計	18,115	17,434	681	

(2) 支出

(単位：千円)

項 目	令和3年度 当初予算額	令和2年度 当初予算額	比 較	備 考
1. 地域づくり交付 金事業	11,722	11,722	0	(1) + (2)
(1) 事務費	2,450	2,450	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 報酬 240 ・ 日当 100 ・ 賃金 1,410 ・ 需用費 500 ・ 役務費 200
(2) 事業費 ① + ②	9,272	9,272	0	①本部事業 2,023 <ul style="list-style-type: none"> ・ 総務企画 855 ・ 生活環境 195 ・ 保健福祉 115 ・ 地域振興 225 ・ 教育文化 633 ②地域づくり支援事業 7,249 <ul style="list-style-type: none"> ・ 道路整備 2,992 ・ 生活環境 2,819 ・ 自治公民館 1,346 ・ 団体支援 92

(単位:千円)

項 目	令和3年度 当初予算額	令和2年度 当初予算額	比 較	備 考
2. 振興センター 管理事業	5,915	5,234	681	人件費 5,365 ・ 給与 3,843 ・ 諸手当 388 ・ 賃金 450 ・ 福利厚生費 684 運営費 550 ・ 消耗品費 89 ・ 燃料費 123 ・ 光熱水費 36 ・ 修繕費 100 ・ 委託料 43 ・ その他 159
3. 社会体育館 管理事業	478	478	0	内訳 ・ 賃金 390 ・ 消耗品費 88
合 計 (1+2+3)	18,115	17,434	681	

(3) 予算の補正

事業費の増減等による項目間の予算の補正は、本部役員会で決することができる。ただし、次の総会に報告し承認を得るものとする。